



# 陽子の道政だより

60

2014年 盛夏号

発行 平出陽子後援会

連絡先／函館市中島町2-8  
北教組函館支部内  
(☎33-5080)

## 道議会も道民の声を無視！

「憲法解釈の変更による集団的自衛権行使容認を行わないことを求める意見書」は 再度少数否決される



第2回定例会 予算特別委員会で質問

**教え子を再び  
戦場に送らないために！**

北海道議会議員  
**平出陽子**

今年は冷夏だと言っていたのに暑い夏がやつてきましたが、私の心は寒々とします。

どうとう、安倍首相は閣議決定だけで、憲法解釈の変更による集団的自衛権行使を容認してしまったからです。新三要件があるからむやみに他国の戦争に加担する体制にならないと説明されても、時の政権の都合で戦争に自ら巻き込まれる行為を国民がすることには私は納得いきません。結果、戦争の被害者にも加害者にもなることは断固認めるわけにはいかないのです。「教え子を再び戦場に送るな。」を先輩たちから受け継いできた私たちは悔しさで一杯です。既に「特定秘密保護法」が制定されてしまったので、国民の知る権利、知らされる権利も奪われた状態です。国民の半数以上が「反対」「慎重審議を！」と叫んでも、聴く耳を持たない安倍政権ですから、滋賀県知事選結果のように地方から反対の狼煙を上げなければなりません。来年の統一自治体選挙結果が重要な意味を持つと思います。私も、「教え子を再び戦場に送らない。」ためにもがんばる決意をしておりますので、御支援をお願い申し上げます。

第二回定例会では、約九億一千万円の補正予算について審議し可決しました。最終日に私達が提案した「憲法解釈の変更による集団的自衛権行使容認を行わないことを求める意見書」に自民党が支離滅裂な質疑をしてかえつて法案の論理矛盾が明らかになりました。結果は少数否決されました。上記写真は、道立工業技術センターについての質問風景です。（詳細は次頁に）



▲ 経済部へ質問  
(第2回定期予算特別委で)

△平出▽北海道新幹線開業に伴ない東北との連携がますます重要になります。北海道と東北、相互の技術力の高度化につなげ、企業を支援するとの答弁がありました。経済交流強化が期待できそうです。

### △東北と北海道の技術連携は?

△平出▽私が普段よく目にしているガゴメ昆布商品等の多くは、このセンターの技術開発によって生まれたものです。

△桔梗町にある道立工業技術センターは地元の中小企業の皆さんに頼りにされています。もつと多くの人に知っていたいのですが。

**22の特許を持ち  
ガゴメ昆布関連商品  
売り上げ  
100億円以上**

=道立工業技術センター=



▲ 陽子のパークゴルフ大会  
-函館陣川PG場にて-



▲ 少花粉スギ植樹  
-函館林試にて-



▲ 函館地区連合メーデー



▲ 北方領土対策特別委員会道外調査  
-中学生が清掃活動するロシア人捕虜基地にて-  
(愛媛県松山市)



▲ 松前線敷設工事殉難者慰靈祭 (松前町)



▲ 建設委員会道内調査  
-稚内港北防波堤ドームにて- (稚内市)



▲ 道教委と意見交換会  
-公立高校間口について- (札幌市)



▲ 女性議員ネットワーク会議研修会  
-全道から参加の女性議員と- (東京都)



▲ 福祉のまちづくり意見交換会  
-建築関係者及び福祉関係者と-



▲ 中島三郎助まつり祈願祭  
-中島ふれあいセンター前にて-  
(函館新聞より)



▲ 道南ⅠⅡⅢ会清掃活動  
-函館大森浜にて-



▲ 新設されたイカール星神社  
-函館朝市にて-

経済政策に傾く政府は、「国民を守る」ということを理由に、憲法解釈の変更を閣議決定したのです。限定的とは言いながら、一度戦争に加担すれば、命を奪い、奪われる場所に立つことが想定されます。人の命の重さを語らない権力者は、どうも私たちを欺いているようになります。大飯原発再稼動の住民訴訟では、住民の生存権を根拠に再稼動を認めない判決が出されました。函館の間に建設予定の大間原発訴訟が続きます。今だからこそ、私たち一人ひとりの「命」や「生活」を守ることを第一にした政策・制度を政治に求めなければなりません。まだ暑い日が続いております。皆様、どうかお身体にはご注意ください。

### あとがき

△全道身体障害者福祉大会函館大会  
-高齢者・視覚障がい者用LED付音響装置と-